

Creo をアップデートする際のチェックリスト

Creo では、優れた製品をより早く設計できます。一例として、モデルベース定義 (MBD)、シミュレーション、ジェネレーティブデザイン、付加製造など、継続的に改良されてきた使いやすい新機能をご利用になれます。スムーズにアップグレードしていただくために、役に立つアーティクルおよびリソースへのリンクを含むチェックリストを作成しました。チェックリストは[記事内](#) (eSupport Portal ナレッジベース内) でも参照できます。

アップデートをスムーズに完了させるために、以下のチェックリストをご活用ください。

Creo のアップデートの計画

- Creo の新機能を確認ご希望のバージョンの Creo の [ヘルプセンター](#) を開き、目次の「新機能」をクリックする。
- 現在使用しているリリースで報告されたソフトウェアの問題で、今回解決されたものがないか確認する。
- 更新に最適な時間をスケジュールする。
- ソフトウェアとほかの製品との互換性を確認する。
- Creo 4 以降のバージョンをご利用の場合は、データを Performance Advisor に送信し、機能の使用状況を監視できます。機能の使用状況から、本稼働開始前のテストで優先的にチェックすべきソフトウェア領域がわかります。
- [CS299234](#) で Creo に関する重要な Oracle Java SE サポートロードマップを確認する。
- [Creo アップグレードサクセスパス](#) を確認する。
- [PTC University Learning Connector](#) などのトレーニングを確認する。

本稼働開始前のテスト

- [Creo インストールセントラルリソース](#) ページを確認する。
- ご希望のバージョンの Creo を [ダウンロード](#) する。
- Creo をインストールし、バージョン固有のインストールガイドを参照する。

- バージョン固有のドキュメント『最初にお読みください』と『コンフィギュレーションオプション』を確認する。
- eSupport Portal のリソースを調べる。
- Creo と [Windchill](#) PDMLink の連携を確認する。
- 本稼働開始のための計画とテスト作業をエキスパートとともに確認する。
- 本稼働開始前に技術的な問題を解決する。
- すべての更新作業を追跡する。
- Performance Advisor のハードウェア互換性に関する結果と推奨事項を確認する。

本稼働開始

- 技術的な問題を監視して解決する。
- 最新のアラートやヒントを受けて、リクエストを行う。
- [Performance Advisor](#) で環境を細かく監視する。

Creo の強み

Creo は製品のイノベーションを促進し、より質の高い製品をスピーディーに作り上げる 3D CAD ソリューションです。Creo は習得が簡単であり、モデルベースアプローチにより、製品設計の初期段階から製造とその後工程までシームレスに対応できます。Creo では、強力な実証済みの機能が、ジェネレーティブデザイン、リアルタイムシミュレーション、高度な製造、IIoT、拡張現実などの新しいテクノロジーと組み合わせられているため、反復処理の迅速な実施、コスト削減、製品品質の改善などが可能になります。また、Creo は SaaS としても利用でき、革新的なクラウドベースのツールが提供されるため、リアルタイムコラボレーションや合理化されたライセンス管理および配布が可能になります。Creo は変化が速い製品開発の分野で、競争優位と市場シェアを獲得するために必要な変革ツールを提供します。

© 2024, PTC Inc. (PTC). All rights reserved. 本資料に記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。418551 Creo Checklist_O324-ja